



第4回 ホームホスピス実践者育成塾

一般社団法人 全国ホームホスピス協会

2004年、宮崎市内の一軒の空家から始まったホームホスピスは、単に「民家を使う」というスタイルにとどまらず、地域全体に働きかけるホスピスムーブメントの拠点として展開し、いま、その理念、目的、かたちに関心した人によって全国各地に開設され、その輪はさらに広がろうとしています。

ホームホスピスは「生えてきた」と表現されるように、開設された地域の風土、土壌にかなう「住まい」でなければ健やかに育っていきません。一方で、制度の枠にとらわれないという性格上、開設された地域の条件や開設する人たちの思いによっても、そのかたちやケアの内容に幅と濃淡が出てきます。私たちは均一化は求めず、それぞれの個性を大切にしたいと考えています。しかし、だからこそホームホスピスの質の担保が重要であり、共通の理念やケアは何度も見直し、確認し、ブラッシュアップしていく必要があります。実践者育成塾はそうした目的で、とくに現場に立つ人を対象に開催するもので、今年で4回目を迎えます。

毎年、「総論」「各論」計5日間のプログラムを実施しておりますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2日間に集約し、オンライン配信することといたしました。皆様の参加をお待ちしております。

■日時：2020年9月12日(土)、13日(日) 9:50～15:00

■配信方式：ZOOMを用いたオンライン配信

■受講料：10,000円 *「ホームホスピスの基準(手引き)」1冊含む

(1日しか参加できなかった方や受信状態が悪かった方のために、後日期間限定配信を予定しています)

■定員：100名

■対象者：ホームホスピス実践リーダー研修生、正・準会員、賛助会員、ホームホスピスに関心があり、開設したいと考えている方が対象です。一般の方が参加を希望される場合は、参加時に賛助会員(年会費5,000円)となっていただきます。

■視聴環境：インターネットに常時接続できる環境やZOOMを起動させるためのパソコンやタブレット等の機器をご用意ください。

■申込方法：ホームページの申込フォーム

全国ホームホスピス協会



■締切：8月15日(定員になり次第、申し込みを締め切らせていただきます)

- ・申し込み1件につきテキストとして「ホームホスピスの基準(手引き)」を申込1件につき1冊郵送いたします。追加でテキストの購入を希望される場合は、申し込み時に追加冊数をご記入ください(1冊=1,100円)。
- ・参加費の支払い、研修参加のためのURLやパスワードは、メールにて連絡します。事前にinfo@homehospice-jp.orgが受信できるよう設定をお願いします。
- ・参加費の入金確認ができ次第受付完了となります。お早めにお申込みください。
- ・申し込まれた方の都合でキャンセルされた場合、返金はできません。
- ・申し込み後、2週間過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください。

【お問合せ先】

一般社団法人 全国ホームホスピス協会事務局 〈月～金 10:00～17:00〉

〒880-0913 宮崎市恒久2-19-6 TEL 0985-65-8087 FAX 0985-53-6054

email info@homehospice-jp.org



申込みフォーム

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

第4回 ホームホスピス実践者育成塾（オンライン研修）

9月12日（土） オンライン研修

| 時 間 | 内 容 | | 講 師 |
|-------------|---------------------|---|--------|
| 9:30～9:50 | 準備・事務局から説明 | | |
| 9:50～11:00 | ホームホスピス はじまりの物語 | ホームホスピスの広がり、今、理念を具現化していくための取り組みや課題について考える。 | 市原 美穂 |
| 11:00～12:00 | ホームホスピスを 支える医療とは | 最期まで「自分らしく」あるために、医療がどう関わるか。 | 山崎 章郎 |
| 12:00～13:00 | 休 憩 | | |
| 13:00～14:00 | ホームホスピスの 空間のつくり方 | 平屋、2階建など建物の構造が作る空間や、襖、障子、家具など屋内の仕切りが作る空間と住まう人との関係を解説する。 | 山口 健太郎 |
| 14:00～15:00 | 老いを学ぶ | 生物としてのヒトについて、個体から社会レベルまで老化を学び、ヒトの死に至るまでの自然な過程をたどり、看取りについて考える。 | 平田 温 |

9月13日（日） オンライン研修

| 時 間 | 内 容 | | 講 師 |
|-------------|----------------------------|--|--------|
| 9:30～9:50 | 準備・事務局から説明 | | |
| 9:50～11:00 | 暮らしを考えるケア からだにやさしい古武術介護 | 古武術の筋力に頼らない合理的な動きを参考に、介護者と被介護者ともに負担のない技術として古武術介護を学ぶ。 | 岡田 慎一郎 |
| 11:00～12:00 | 意思決定支援における 法的・倫理的視点 | 意思決定支援における法的、倫理的視点 | 稲葉 一人 |
| 12:00～13:00 | 休 憩 | | |
| 13:00～14:00 | 失敗しない労務管理 | 本格的に始動した「働き方改革」において、事業者がやるべきことや失敗しないためのノウハウを学ぶ。 | 高浪 賢一 |
| 14:00～15:00 | 2040年の高齢化社会 のキーワード（案） | | 高橋 紘士 |

□講師プロフィール

| | | |
|--------|--|---|
| 市原 美穂 | 全国ホームホスピス協会 理事長 | 認定NPO法人ホームホスピス宮崎理事長。2004年に「ホームホスピスカあさんの家」を開設する。2015年「保健文化賞」、2018年「第5回エクセレントNPO大賞組織力賞」など受賞。 |
| 山崎 章郎 | ケアタウン小平クリニック 院長 | 千葉大学医学部卒業。1991年より聖ヨハネ会総合病院桜町病院にホスピス科部長を務める。2005年、ケアタウン小平クリニックを開設。死の臨床研究会の世話人代表。著書、『家で死ぬということ』、『在宅ホスピス』という仕組み』他多数。 |
| 山口 健太郎 | 近畿大学建築学部 教授 | 京都大学大学院博士課程修了。(株)メトス、国立保健医療科学院協力研究員などを経て現在、近畿大学建築学部教授。2010年日本建築学会奨励賞受賞。博士(工学)(一級建築士)。 |
| 平田 温 | 吉田病院 附属脳血管研究所所長 | 京都大学医学部卒業。京大老年科・神経内科で研修、国立循環器病センターで超急性期脳血管障害の診療や研究に従事。その後、秋田県立脳血管研究センター、宮崎県の病院で老年神経学の診療にあたり、2015年より現職。 |
| 岡田 慎一郎 | 理学療法士、介護福祉士 介護支援専門員 | 身体障害者、高齢者施設に勤務し、独自の身体介助法を模索する中、古武術と出会い、「古武術介護」を提案。幅広い分野で講演、執筆、企業アドバイザーなど多岐にわたる活動を行う。 |
| 稲葉 一人 | 中京大学法務総合教育研究 機構教授、久留米大学医学部、 三重大学医学部等客員教授 | 東京地方裁判所判事補、大阪地方裁判所判事。米国連邦最高裁判所連邦司法センター客員研究員。京都大学大学院医学研究科・博士課程を経て現在、厚生労働省、地方公共団体、大学、病院委員・委員長等多数。 |
| 高浪 賢一 | 高浪社会保険労務士事務所 代表 社会保険労務士 医療労務コンサルタント | 社会保険労務士、行政書士試験合格。顧問先企業の労務コンサルに従事する傍ら、福岡県医療勤務環境改善センターの医療労務管理アドバイザーとして、医療機関の労務管理適正化の支援に取り組む。 |
| 高橋 紘士 | 東京通信大学教授 高齢者住宅財団顧問 | 東京通信大学教授。高齢者住宅協会顧問。特殊法人社会保障研究所研究員、法政大学教授、立教大学教授、国際医療福祉大学大学院教授などを経て現職。全国社会福祉協議会研究情報センター所長、(社)日本社会福祉士会理事などを歴任。 |